

**製品名: PSGL-1 ウサギポリクローナル抗体****カタログ番号: APRab16601**

研究使用のみ

**概要**

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:5000-1:20000
分子量	45 110kDa(glycosylated)

**抗原情報**

遺伝子名	SELPLG
別名	SELPLG; P-selectin glycoprotein ligand 1; PSGL-1; Selectin P ligand; CD162
遺伝子 ID	6404.0
SwissProt ID	Q14242
免疫原	抗血清はヒト SELPLG の N 末端領域由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 1-50

**背景**

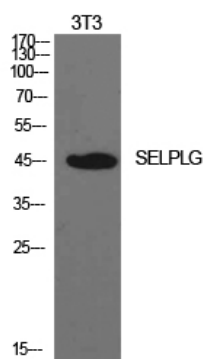
この遺伝子は、骨髄細胞および刺激を受けた T リンパ球に発現する細胞接着分子である P-、E-、および L-セレクトインに対する高親和

性カウンターレセプターとして機能する糖タンパク質をコードしています。そのため、このタンパク質は、活性化血小板またはセレクチンを発現する内皮細胞に白血球を繫留することにより、炎症時の白血球輸送において重要な役割を果たします。このタンパク質は、高親和性結合活性を得るために、チロシン硫酸化と O-結合型グリカンへのシアリルルイス X 四糖 (sLex) の付加という 2 つの翻訳後修飾を必要とします。この遺伝子の異常発現および遺伝子多型は、自然免疫応答および獲得免疫応答の欠陥と関連しています。選択的スプライシングにより、複数の転写産物バリエーションが生じる。[RefSeq 提供、2011 年 4 月]、機能: SLe(x)型グリカンは、E-、P-、および L-セレクチンと高親和性のカルシウム依存性相互作用を介して、炎症の初期段階で血管表面における白血球の迅速なローリングを媒介する。PSGL1 は白血球の初期捕捉に不可欠である。、オンライン情報: P-セレクチン糖タンパク質リガンド 1 エントリ、PTM: 複合型、コア 2 型、シアリル化およびフコシル化 O 結合型オリゴ糖を表示。少なくとも一部には、様々な置換度のポリ-N-アセチルラクトサミンが含まれると思われる。主に、コア 2 型四糖のジシアリル化型または中性型、Galbeta1-->4GlcNAc beta1-->6(Galbeta1-->3)GalNAcOH。GlcN:GalN 比は約 2:1、Man:Fuc 比は 3:5 です。約 14% のフコースを含み、 $\alpha$ -1,3 結合は 2 つの形態で存在します。1 つはジシアリル化モノフコシル化グリカンであり、もう 1 つはポリラクトサミン骨格を持つモノシアリル化トリフコシル化グリカンです。フコシル化された形態はルイス抗原を運び、セレクチンとの相互作用および白血球ローリングにおける機能に重要です。シアリルルイス X グリカンを含む修飾は Thr-57 にあります。硫酸化 O-グリカンは存在しません。N-グリコシル化は一部存在します。PTM: 硫酸化は、SLe(x)含有グリカンと相まって、P-および L-セレクチンとの結合に必要です。高親和性 P-セレクチン結合には、Tyr-48 と Tyr-51 の両方が硫酸化された異性体が優先的に必要であるのに対し、L-セレクチン結合には主に Tyr-51 の硫酸化が必要であり、Tyr-48 の硫酸化はそれほど重要ではありません。これらの硫酸化は、L-および P-セレクチンを介した好中球リクルートメントや白血球ローリングにおいて重要な役割を果たします。、サブユニット: ホモ二量体;ジスルフィド結合。レクチン/EGF ドメインを介した P-、E-および L-セレクチンとの相互作用は、白血球のリクルートメントとローリングの促進に必要です。これらの相互作用にはシアリルルイス X グリカン修飾が必要ですが、チロシン硫酸化への依存性は異なります。PSGL1 の Tyr-51 の硫酸化は、高親和性 L-セレクチン/SELL 結合に最も重要ですが、P-セレクチン/SELP には Tyr-48 の硫酸化が必要です。E-セレクチン/SELE は結合親和性が非常に低く、sLe(x)エピトープを必要とするものの、チロシン硫酸化は必要としないようです。P-セレクチン/SELP 結合には二量体形成は必要ないようで、SNX20 と相互作用します。、組織特異性: 好中球、単球、およびほとんどのリンパ球に発現します。、

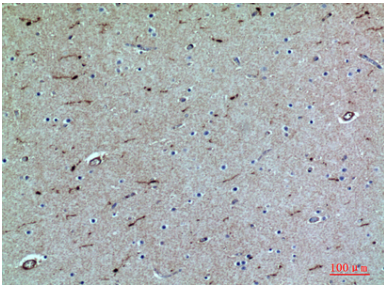
## 研究分野

細胞接着分子 (CAM)

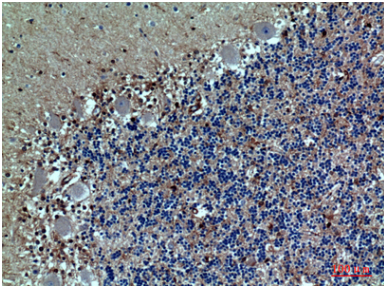
## 画像データ



PSGL-1 ポリクローナル抗体を用いた NIH-3T3 細胞のウェスタンブロット分析。二次抗体は 1:20000 に希釈された。



パラフィン包埋ヒト脳の免疫組織化学分析、抗体は 1:100 に希釈された



パラフィン包埋ヒト脳の免疫組織化学分析、抗体は 1:100 に希釈された